

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010100		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	障害者地域生活支援事業		予算事業名	障害者地域生活支援事業 優先度 5	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		地域活動支援センター運営事業補助金					
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、地域生活支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児					
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的・効果的に実施し、障害者等がその有する能力及び適性に応じ、安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができる社会の実					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国の地域生活支援事業実施要綱に規定する市町村地域生活支援事業として、必須事業(相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業)及びその他の事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	相談支援事業	人	183	246	211	235
	日常生活用具給付等事業	人	58	56	59	60
	移動支援事業	人	31	28	32	30
	その他事業	人	2,738	3,844	4,385	4,500

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	1.356	2.108	155	1.344	64	1.412	105	
	臨時職員	0.000		-	0.640	-		0	
支出内訳	人件費	10,780,680	16,521,526	153	12,327,045	75	11,263,410	91	
	事業費	35,721,487	34,885,225	98	40,355,556	116	48,965,000	121	
	合計	46,502,167	51,406,751	111	52,682,601	102	60,228,410	114	
財源内訳	国庫支出金	16,247,000	14,311,000	88		0		-	
	県支出金	9,628,000	6,905,000	72		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,627,167	30,190,751	146	52,682,601	174	60,228,410	114	
	合計	46,502,167	51,406,751	111	52,682,601	102	60,228,410	114	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		地域生活支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,800	3,323	118.7	4,234	127.4	4825	114.0	
	実績	3,010	4,174	138.7	4687	112.3			
指標名2		地域生活支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,568	12,133	83.3	9,955	82.0	10148	101.9	
	実績	11,867	8,357	70.4	8610	103.0			

【効率性】

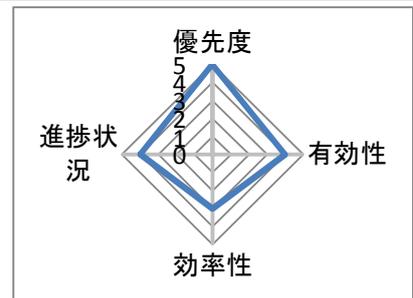
指標名1		地域生活支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,977	6,067	203.8	2,656	43.8	2334	87.9	
	実績	3,581	3,958	110.5	2630	66.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	負担割合の適正化	対象となる事業が多く、全体のコストから見て、市の負担割合が多くを占めている。	3
	手段の最適性	それぞれの事業について、実施時期や開催場所、開催回数など、概ね適正に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	市の負担が大きく、国に対して補助金の適正な配分を求める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	事業内容、事業効果を検証し、事業の整理を図る。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401010200	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	成年後見制度利用支援事業	予算事業名	成年後見制度利用支援事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名
取組み事項		障害者の相談支援体制を充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		知的障害者福祉法第28条、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第51条の11の2、相生市成年後見制度における市長による審判の請求に関する要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービスを利用する知的・精神障害者のうち、後見開始の審判等の申立てを市町村が行う必要がある者で、配偶者及び四親等以内の親族がいない、申立てに要する経費を助成			
	誰(何)を対象として	後見開始の審判等の申立てに要する経費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	判断能力が不十分な者に対して、適切な後見人を見つけ、本人の財産管理や身上監護を適切に行う。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所又は居所を有し、法に規定する後見、保佐又は補助を必要とする状態にある者のうち、審判の請求をすべき親族等がいない場合に、本人の福祉の向上を図るために市長が審判の請求を家庭裁判所に行う。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	市長申立て件数	件	0	1	0	2

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.056	0.052	93	0.056	108	0.064	114	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	739,480	717,054	97	792,421	111	805,626	102	
	事業費	0	62,050	-	0	0	907,000	-	
	合計	739,480	779,104	105	792,421	102	1,712,626	216	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	739,480	779,104	105	792,421	102	1,712,626	216	
合計	739,480	779,104	105	792,421	102	1,712,626	216		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市長申立て件数							
指標説明(式)		年間成年後見制度市長申立て件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	2	200.0	3	150.0	2	66.7	
	実績	0	1	-	1	100.0			
指標名2		成年後見市長申立て1件当たりの助成額							
指標説明(式)		年額助成額/年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	451000	451000	100.0	34000	7.5	280000	823.5	
	実績	0	62050	-	0	0.0			

【効率性】

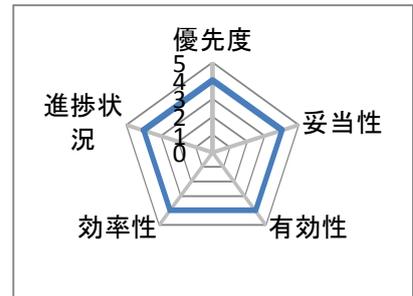
指標名1		成年後見市長申立て1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費/年間成年後見申立て件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1144320	682190	59.6	300807	44.1	402813	133.9	
	実績	739480	717054	97.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できた。	4
	市民サービス	今後も施設入所者等の利用が増える可能性がある。	
効率性	手段の最適性	適切な手段により実施されている。	4
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	対象者の親族等の確認作業が極めて煩雑であるが、親族や関係者等の協力を得ながら、スムーズに請求をできるような体制を整える必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	後見人の必要な状態にある対象者には、後見制度を利用できるよう周知を図るとともに、後見人に対する報酬の支払いが困難であるという理由で、申し立てを断念しないよう、報酬の全部(一部)を助成

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401020100		事業の種類	1		
年度	26	事務事業名	障害者自立支援事業		予算事業名	障害者自立支援事業	優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	炭田 哲也	
取組み事項		雇用を促進し、就労への支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		障害者基本計画及び障害福祉計画の策定			障害者福祉システムG-trust更新			
		社会保障・税番号制度システム整備事業			社会保障・税番号制度システム整備事業			
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児						
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ						
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者や家族の不安・軽減を解消することにより、日常生活の安定を図るとともに、障害者の社会参加・自立を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者等の申請に基づき、障害程度区分の認定等を行い、障害福祉サービスの支給決定を行う。この決定に基づき障害福祉サービスを利用した障害者等に対し、その費用の全部又は一部を介護給付費として支給する。						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	福祉サービス利用者数	人	3,337	3,622	4,035	4,435		
	補装具費給付等利用者	人	69	58	64	69		
	自立支援医療利用者	人	14	17	19	8		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	2.397	4.716	197	1.988	42	1.800	91	
	臨時職員	0.910	0.998	110	1.307	131	1.146	88	
支出内訳	人件費	21,008,094	39,005,340	186	18,937,567	49	17,270,304	91	
	事業費	496,817,379	514,660,696	104	543,117,669	106	582,281,000	107	
	合計	517,825,473	553,666,036	107	562,055,236	102	599,551,304	107	
財源内訳	国庫支出金	231,349,500	240,126,178	104		0		-	
	県支出金	123,874,146	126,841,820	102		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	162,601,827	186,698,038	115	562,055,236	301	599,551,304	107	
	合計	517,825,473	553,666,036	107	562,055,236	102	599,551,304	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者数							
指標説明(式)		年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3,584	3,571	99.6	3,946	110.5		0.0	
	実績	3,420	3,697	108.1	4,118	111.4			
指標名2		障害福祉サービス等利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	130,401	145,601	111.7	142,059	97.6		0.0	
	実績	145,268	139,210	95.8	131,921	94.8			

【効率性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,376	5,843	108.7	5,668	97.0		0.0	
	実績	6,142	10,550	171.8	4599	43.6			

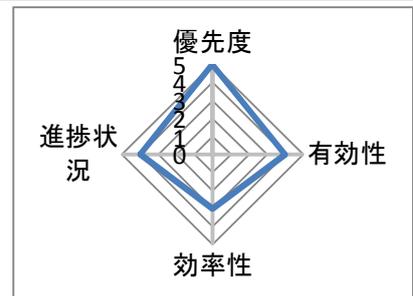
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害福祉サービス利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	障害福祉サービス、自立支援医療(更生医療)及び補装具費給付の利用者数が増えたことによりコストが増加した。	3
	執行体制の効率性	障害福祉サービスの制度周知に伴い、利用者増により事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率性を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者数は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容の複雑化、利用者増に伴う事務量の増加に対応するため、効率的な事務の執行が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の適正な実施のため、国、県からの情報に注視しながら、システム等を活用し効率的な事務の執行を図る。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030100	事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	福祉サービス第三者評価補助事業	予算事業名	福祉サービス第三者評価補助事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名	横家 秀樹
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律				
事業の目的	誰のために(具体的に)	障害福祉サービス等事業者と障害福祉サービス利用者				
	誰(何)を対象として	障害福祉サービス等事業者に対する第三者評価				
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害福祉サービス等提供事業者のサービス提供について第三者評価受診経費を補助し、受審促進と評価内容の把握と改善努力によって福祉サービスの質の改善と向上を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		第三者評価を受審し、福祉サービスの質の改善と向上を図るため、第三者評価受審経費を補助する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	福祉サービス第三者評価補助事業	件	1	0	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.024	150	0.024	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	430,520	440,322	102	544,485	124	495,306	91	
	事業費	120,000	0	0	110,000	-	150,000	136	
	合計	550,520	440,322	80	654,485	149	645,306	99	
財源内訳	国庫支出金	0		-		-		-	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-		-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	550,520	440,322	80	654,485	149	645,306	99	
	合計	550,520	440,322	80	654,485	149	645,306	99	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		第三者評価受審件数							
指標説明(式)		第三者評価受審件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	1	0	0.0	1	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

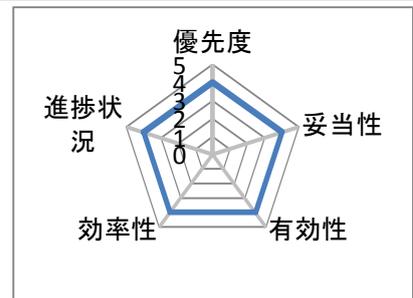
指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷受審件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	150000	100.0	150000	100.0	150000	100.0	
	実績	120000	0	0.0	110000	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	補助事業の更なる周知を含めて事業者への周知が必要である。	4
効率性	負担割合の適正化	補助率の見直しは将来的に必要な。	4
	手段の最適性	受審事業者への補助金交付で適正に実施出来ている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業所へ制度の必要性等を説明し、積極的な受審を促す。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	第三者評価の制度の説明及び受審結果を他事業所と共有する機会を設ける。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030200	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	障害者自立支援事業	予算事業名	障害者自立支援事業 優先度 5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 炭田 哲也
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名		障害者基本計画及び障害福祉計画の策定		障害者福祉システムG-trust更新	
		社会保障・税番号制度システム整備事業		社会保障・税番号制度システム整備事業	
根拠法規及び関連法規		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			
		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者や家族の不安・軽減を解消することにより、日常生活の安定を図るとともに、障害者の社会参加・自立を促進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者等の申請に基づき、障害程度区分の認定等を行い、障害福祉サービスの支給決定を行う。この決定に基づき障害福祉サービスを利用した障害者等に対し、その費用の全部又は一部を介護給付費として支給する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	福祉サービス利用者数	人	3,337	3,622	4,035	4,435
	補装具費給付等利用者	人	69	58	64	69
	自立支援医療利用者	人	14	17	19	8

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	2.397	4.716	197	1.988	42	1.800	91	
	臨時職員	0.910	0.998	110	1.307	131	1.146	88	
支出内訳	人件費	21,008,094	39,005,340	186	18,937,567	49	17,270,304	91	
	事業費	496,817,379	514,660,696	104	543,117,669	106	582,281,000	107	
	合計	517,825,473	553,666,036	107	562,055,236	102	599,551,304	107	
財源内訳	国庫支出金	231,349,500	240,126,178	104		0		-	
	県支出金	123,874,146	126,841,820	102		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	162,601,827	186,698,038	115	562,055,236	301	599,551,304	107	
	合計	517,825,473	553,666,036	107	562,055,236	102	599,551,304	107	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害福祉サービス等利用者数							
指標説明(式)		年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3,584	3,571	99.6	3,946	110.5		0.0	
	実績	3,420	3,697	108.1	4,118	111.4			
指標名2		障害福祉サービス等利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	130,401	145,601	111.7	142,059	97.6		0.0	
	実績	145,268	139,210	95.8	131,921	94.8			

【効率性】

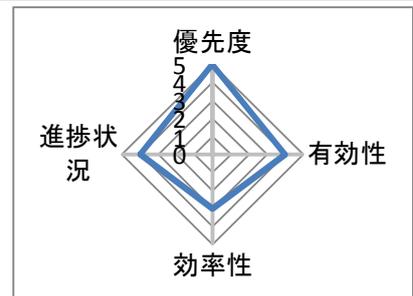
指標名1		障害福祉サービス等利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間障害福祉サービス等利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5,376	5,843	108.7	5,668	97.0		0.0	
	実績	6,142	10,550	171.8	4599	43.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害福祉サービス利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	障害福祉サービス、自立支援医療(更生医療)及び補装具費給付の利用者数が増えたことによりコストが増加した。	3
	執行体制の効率性	障害福祉サービスの制度周知に伴い、利用者増により事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率性を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者数は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容の複雑化、利用者増に伴う事務量の増加に対応するため、効率的な事務の執行が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の適正な実施のため、国、県からの情報に注視しながら、システム等を活用し効率的な事務の執行を図る。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030300	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	重度障害者医療費助成事業	予算事業名	重度障害者医療費助成事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	岩崎 徹博
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		担当者名	土居 城介
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		福祉医療費等助成条例、福祉医療費等助成条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	重度障害者医療費助成対象者			
	誰(何)を対象として	重度障害者医療費助成対象者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	該当者に適切な医療を確保し、健康を保ち、健やかに暮らす			

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度障害者の医療費の一部を助成する(18年度より重度精神障害者を含む)				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	助成費	円	61,020,359	56,044,008	54,074,949	61,800,000
	助成件数	件	6,520	6,425	6,309	6,875
	平均受給者数	人	333	332	332	360

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.252	0.266	106	0.285	107	0.285	100	
	臨時職員	0.026	0.026	100	0.026	100	0.026	100	
支出内訳	人件費	2,315,862	2,425,538	105	2,629,893	108	2,588,134	98	
	事業費	61,020,359	56,044,008	92	54,074,949	96	60,800,000	112	
	合計	63,336,221	58,469,546	92	56,704,842	97	63,388,134	112	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	30,510,179	28,022,004	92	27,037,474	96	30,916,000	114	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	32,826,042	30,447,542	93	29,667,368	97	32,472,134	109	
合計	63,336,221	58,469,546	92	56,704,842	97	63,388,134	112		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りの重度障害者医療助成							
指標説明(式)		助成費/平均受給者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	169,697	186,629	110.0	176,806	94.7	171,667	97.1	
	実績	183,244	168,807	92.1	162,876	96.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		重度障害者医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	366	356	97.3	356	100.0	231	64.9	
	実績	355	378	106.5	417	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会的、経済的に弱い立場の重度障害者に対し、適正な医療費助成を行った。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令等に基づいた適正な事務処理を行った。	
効率性	コストの節減	1件当りのコストは年々上がっている。	4
	執行体制の効率性	事業実施にあたり、迅速かつ適正な事務処理体制をとっている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

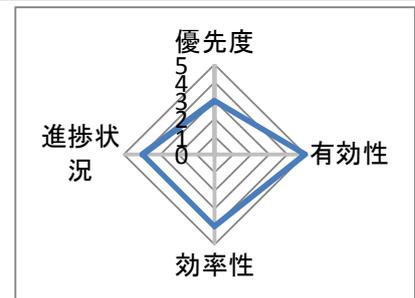
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	医療費の動向を注視しながら、事業を継続していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	医療費通知などを行い、医療費の抑制を図る。



配点	25
総合評価	19

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030400	事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	予算事業名	重度心身障害者特別給付金支給事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	市民生活部市民課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	岩崎 徹博	担当者名 藤田 達郎	
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		相生市外国籍障害者等福祉給付金支給要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等				
	誰(何)を対象として	国民年金受給権のない在日外国籍障害者等				
	意図(どのような状態にしたいのか)	福祉給付金を支給することにより、その生活の安定と福祉の向上を目指す				

2 事業の概要 Do

実施の概要		国民年金制度上、国民年金の受給資格のない在日外国籍障害者等に対し、福祉給付金を支給する				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	無年金外国籍障害者等福祉給付金事務	人(延べ)	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.018	0.018	100	0.020	111	0.024	120	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	445,968	455,696	102	513,493	113	495,306	96	
	事業費	0	0	-	0	-	914,000	-	
	合計	445,968	455,696	102	513,493	113	1,409,306	274	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-	429,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	445,968	455,696	102	513,493	113	980,306	191	
合計	445,968	455,696	102	513,493	113	1,409,306	274		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		給付率							
指標説明(式)		受給対象者に対する給付率 受給対象者延べ人数 ÷ 給付者延べ人数 × 100							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		受給者1人当たりの事務処理時間							
指標説明(式)		事務処理時間数／受給者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	関係(根拠)法令等から見た効果	対象者なし	3
	成果目標(改善)達成度	対象者に100%給付 対象者なし	
効率性	コストの節減	対象者なし	3
	執行体制の効率性	対象者なし	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者なし	3

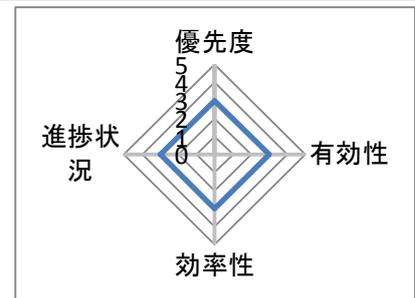
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	在日外国人の無年金問題は、本来年金制度の持つ加入資格要件上発生した問題であり、国の責任において実施すべき問題である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	関係(根拠)法令から見た効果	関係機関を通じて、国に要望していく。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030500		事業の種類	5		
年度	26	事務事業名	障害者団体等補助事業		予算事業名	障害者団体等補助事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち			担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	山本 由香里	
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者・障害児とその家族						
	誰(何)を対象として	障害者各団体の活動費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者の活動の場や行動範囲を広げ、社会参加及び自立した生活を促進する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害者及びその家族等で構成され、障害者福祉向上のために活動している障害者団体の経営基盤の安定と活動の発展に資することを目的に、補助金を交付する。						
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画		
	相生市身体障害者協会事業	円	250000	250000	250000	250000		
	相生市手をつなぐ育成会事業	円	200000	200000	200000	200000		
	ハートフルフェア事業	円	900000	900000	900000	900000		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	368,728	378,826	103	420,517	111	371,178	88	
	事業費	1,350,000	1,350,000	100	1,350,000	100	1,350,000	100	
	合計	1,718,728	1,728,826	101	1,770,517	102	1,721,178	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,718,728	1,728,826	101	1,770,517	102	1,721,178	97	
合計	1,718,728	1,728,826	101	1,770,517	102	1,721,178	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助団体数							
指標説明(式)		年間補助金交付実績数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

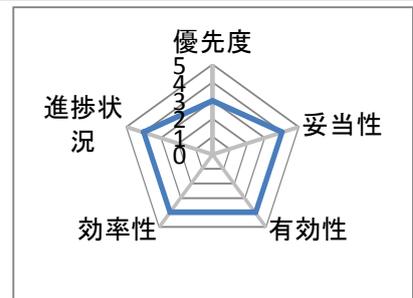
指標名1		障害者団体への補助金交付に係る1件あたりのコスト							
指標説明(式)		年間人件費／補助団体数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	154340	111251	72.1	129479	116.4	123724	95.6	
	実績	122909	126275	102.7	140172	111.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害者団体が活動を行うための適正な交付を行うことができた。	4
	市民サービス	補助金の交付により、障害者団体を構成する障害者及びその家族の社会福祉活動の向上が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	それぞれの障害者団体の活動状況に応じた適正な補助が行われている。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	補助金を交付することで、障害(児)者の交流の輪を広げ情報交換を行うとともに、社会参加を促進する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な執行体制・方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030600		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	特別障害者手当等支給事業		予算事業名	特別障害者手当等支給事業	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		特別児童扶養手当等の支給に関する法律第17～26条、第26条の2～5及び国民年金法の一部を改正する法律附則第97条第2項で準用する第18条・令第42号附則第2条の2					
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別障害者手当: 福祉手当より重度の障害を持つ20歳以上の者。障害児福祉手当: 重度の障害を持つ20歳未満の児童。経過福祉手当: 法改正前の福祉手当受給資格者のうち、特別障					
	誰(何)を対象として	福祉手当受給対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により、特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		福祉手当対象者より重度の障害を持つ20歳以上の者に特別障害者手当を月額2万6,260円支給する。重度の障害を持つ20歳未満の児童に障害児福祉手当を月額1万4,280円支給する。国民年金法改正前の福祉手当受給資格者のうち、改正法の特別障害者手当に該当せず、					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	特別障害者手当	延人	210	218	240	252	
	障害児福祉手当	延人	131	125	107	96	
	経過福祉手当	延人	36	27	24	24	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.080	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	924,856	932,290	101	978,373	105	929,754	95	
	事業費	7,903,450	7,891,300	100	8,096,340	103	9,043,000	112	
	合計	8,828,306	8,823,590	100	9,074,713	103	9,972,754	110	
財源内訳	国庫支出金	5,927,587		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,900,719	8,823,590	304	9,074,713	103	9,972,754	110	
合計	8,828,306	8,823,590	100	9,074,713	103	9,972,754	110		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特別障害者手当等支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	396	384	97.0	380	99.0	372	97.9	
	実績	377	370	98.1	371	100.3			
指標名2		特別障害者手当等1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	20518	21020	102.4	21024	100.0	24309	115.6	
	実績	20964	21328	101.7	21823	102.3			

【効率性】

指標名1		特別障害者手当等支給に係る1件当たりコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2393	2353	98.3	2544	108.1	2506	98.5	
	実績	2453	2520	102.7	2637	104.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事態を適正にすることができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者の増減により影響を受けるが、ほぼ前年並みであった。	4
	執行体制の効率性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	認定事務及び支給事務は計画的に処理出来ている	4

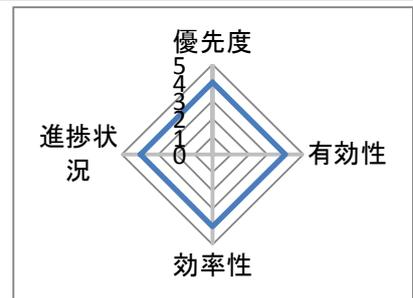
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手当の支給条件が複雑であり、引続き制度の周知を行い、適正かつ有効な執行が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的に執行する。



配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030700		事業の種類	1	
年度	26	事務事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業		予算事業名	重度心身障害者(児)介護手当支給事業	
優先度	4		実施計画				
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典		担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規	兵庫県重度心身障害者(児)介護手当支給事業実施要綱、相生市重度心身障害者介護手当支給条例、相生市重度心身障害者介護手当支給条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	65歳未満の介護保険を利用しない重度の身体障害者手帳及び療育手帳認定者で、居宅で6ヶ月以上常時臥床の状態若しくは同様の状態であり、常時介護を要する者を主として介護し					
	誰(何)を対象として	常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する重度障害のために要する特別な経済的需用。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度心身障害者(児)の介護者又は障害者本人の経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	身体障害者手帳1・2級及び重度の療育手帳認定者であって、居宅において6ヶ月以上常時臥床若しくは同様の状態であり、常時介護を要する65歳未満の者を主として介護している者に、月額1万円の介護手当を支給する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	重度心身障害者(児)介護手当	延人	309	283	281	300

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.060	100	0.060	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	770,376	778,550	101	823,413	106	774,594	94	
	事業費	1,520,831	1,379,166	91	1,362,498	99	1,400,000	103	
	合計	2,291,207	2,157,716	94	2,185,911	101	2,174,594	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	233,333	200,000	86		0	200,000	-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,057,874	1,957,716	95	2,185,911	112	1,974,594	90	
合計	2,291,207	2,157,716	94	2,185,911	101	2,174,594	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	重度心身障害者(児)介護手当支給件数								
指標説明(式)	年間支給件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	372	300	80.6	300	100.0	300	100.0	
	実績	309	283	91.6	281	99.3			
指標名2	重度心身障害者(児)介護手当1件当り支給額								
指標説明(式)	年間事業費/年間支給件数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	4973	4833	97.2	4667	96.6	4667	100.0	
	実績	4922	4873	99.0	4849	99.5			

【効率性】

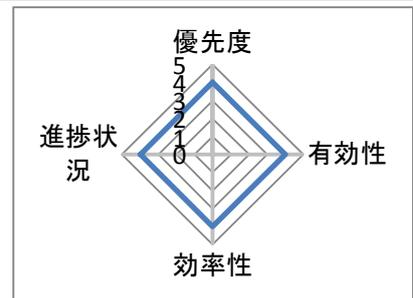
指標名1		重度心身障害者(児)介護手当1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2547	2485	97.6	2687	108.1	2582	96.1	
	実績	2493	2751	110.3	2930	106.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	支給対象者が減少したことにより、コストが減となった。	4
	執行体制の効率性	適切な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに事務執行できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	県事業分・市単独分の受給資格認定業務等が複雑であり適正に執行する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的に執行する

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030800	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業	予算事業名	重症心身障害者福祉年金支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		担当者名	鶴尾 あい子
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市重症心身障害者福祉年金条例、相生市重症心身障害者福祉年金条例施行規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者。			
	誰(何)を対象として	重度の障害のために要する特別な経済的需用。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	重度の障害により特に必要とされる経済的負担を軽減し、生活の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		重度の身体障害者手帳及び療育手帳並びに精神障害者保健福祉手帳の重度の認定者で、相生市に引き続き1年以上住所を有する者に福祉年金を支給する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	1級福祉年金	延人	5628	5630	5651	5687
	2級福祉年金	延人	2101	2055	1987	2024

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.144	100	0.140	97	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,419,192	1,424,258	100	1,474,245	104	1,395,234	95	
	事業費	16,867,200	16,839,200	100	16,741,600	99	16,944,000	101	
	合計	18,286,392	18,263,458	100	18,215,845	100	18,339,234	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	18,286,392	18,263,458	100	18,215,845	100	18,339,234	101	
合計	18,286,392	18,263,458	100	18,215,845	100	18,339,234	101		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉年金支給件数							
指標説明(式)		年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	7800	7860	100.8	7785	99.0	7710	99.0	
	実績	7729	7685	99.4	7638	99.4			
指標名2		福祉年金1件当り支給額							
指標説明(式)		年間事業費/年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	2178	2163	99.3	2189	101.2	2190	100.0	
	実績	2182	2191	100.4	2191	100.0			

【効率性】

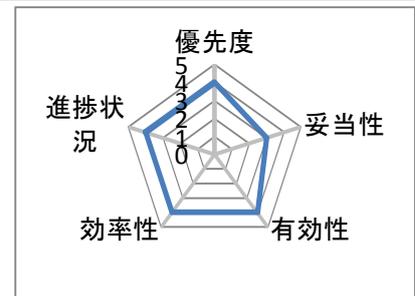
指標名1		福祉年金支給に係る1件あたりコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	170	178	104.7	190	106.7	200	105.3	
	実績	183	185	101.1	193	104.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	有資格者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	福祉年金の支給により、障害者の経済的負担を軽減することができた。	
効率性	コストの節減	対象者が減ったため、コスト減になった。	4
	手段の最適性	手帳交付時に受給資格対象者に申請をしてもらうことで適正に実施することができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が処理されている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	手帳交付時に新規受給資格対象者に申請をもらうことで適正に実施することができた。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	対象者の受給資格を徹底し、最適な事務の執行を図る

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401030900	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	身体障害者福祉基金事業	予算事業名	身体障害者福祉基金事業 優先度 3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名 山本 由香里
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	有	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市身体障害者福祉金支給規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者			
	誰(何)を対象として	車いす等を利用する身体障害者が、リフト付車両等を新規に購入またはリフト装置等を車両に装着する経費			
	意図(どのような状態にしたいのか)	リフト付車両等の新規購入またはリフト装置等を車両に装着する経費を助成することにより、身体障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		身体障害者福祉基金の運用益をもって、身体障害者手帳1・2級を所持し下肢又は体幹機能障害により車いす等を使用している在宅の身体障害者又はその介護者に対し、リフト付車両等の新規購入等にかかる経費に対し100,000円を限度に助成する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	福祉金助成件数	件	0	0	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.016	0.008	50	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	430,520	378,826	88	420,517	111	371,178	88	
	事業費	34,590	32,728	95	132,788	406	201,000	151	
	合計	465,110	411,554	88	553,305	134	572,178	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	34,590		0		-		-	
	一般財源	430,520	411,554	96	553,305	134	572,178	103	
	合計	465,110	411,554	88	553,305	134	572,178	103	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		福祉金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		福祉金1人当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	100500	200000	199.0	200000	100.0	200000	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			

【効率性】

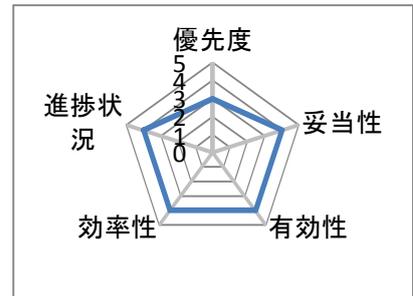
指標名1		福祉金助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	239080	189413	79.2	194218	102.5	185589	95.6	
	実績	430520	378826	88.0	210258	55.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し適切に実施することができた。	4
	市民サービス	助成金の支給により障害者の経済的負担を軽減し、生活の質の向上が図れた。	
効率性	執行体制の効率性	支給要件を緩和し、既所有車へのリフト装置の装着にも助成を拡大した。	4
	手段の最適性	最適な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	助成件数が少ないため、事業を市民に広く周知する必要がある



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	制度の周知を行い、より適正かつ効率的な執行を行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031000	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業	予算事業名	心身障害児童就学奨励金支給事業
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		担当者名	山本 由香里
実施計画事業名				実施計画への記載	有
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市中心身障害児童就学奨励金支給規則			
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身障害児童・保護者			
	誰(何)を対象として	心身障害児童の就学に要する経済的負担			
	意図(どのような状態にしたいのか)	心身障害児童の就学に要する経済的負担を軽減し、就学環境の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学校に就学する心身に障害のある児童であって、市内に引き続き1年以上住所を有する児童及びこれら以外の児童で当該児童の保護者が市内に引き続き1年以上住所を有する児童の保護者に就学奨励金を支給する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	就学奨励金	件	29	30	26	33

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	430,520	440,322	102	482,501	110	433,242	90	
	事業費	348,000	357,000	103	312,000	87	420,000	135	
	合計	778,520	797,322	102	794,501	100	853,242	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	778,520	797,322	102	794,501	100	853,242	107	
合計	778,520	797,322	102	794,501	100	853,242	107		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨励金支給件数							
指標説明(式)		年間の奨励金支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
件	目標	29	30	103.4	23	76.7	33	143.5	
	実績	29	30	103.4	23	76.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

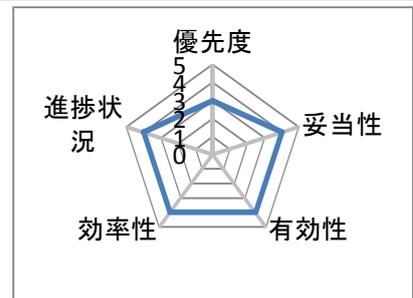
指標名1		奨励金支給に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間支給件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	16488	13236	80.3	19681	148.7	13128	66.7	
	実績	14845	14677	98.9	20978	142.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	奨励金支給対象者を的確に把握し、適正な支給を行うことができた。	4
	市民サービス	奨励金の支給による経済的負担の軽減により、心身障害児の就学環境の向上が図られた。	
効率性	コストの節減	昨年度に比べ在籍者数が減少し、支給額が減少した	4
	手段の最適性	効率的に実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに事務が執行できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	保護者の経済的ニーズを軽減できる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	より効果的な執行体制・方法を検討。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031100		事業の種類	4	
年度	26	事務事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	予算事業名	心身障害者扶養共済制度施行事業	優先度	3
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		兵庫県心身障害者扶養共済制度条例施行規則、相生市心身障害者扶養共済制度掛金助成規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者					
	誰(何)を対象として	共済制度掛金					
	意図(どのような状態にしたいのか)	共済制度掛金の一部を助成し、制度への加入促進及び加入者の負担軽減を図ることにより、保護者が死亡・高度障害になった場合の障害者の経済的安定を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身障害者の保護者が、毎月納入する共済制度掛金の額を課税状態に応じて助成する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	助成件数	件	5	5	4	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	461,416	471,070	102	513,493	109	464,274	90	
	事業費	108,635	97,590	90	49,625	51	86,000	173	
	合計	570,051	568,660	100	563,118	99	550,274	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	570,051	568,660	100	563,118	99	550,274	98	
合計	570,051	568,660	100	563,118	99	550,274	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成件数							
指標説明(式)		年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
延人	目標	6	4	66.7	4	100.0	3	75.0	
	実績	5	5	100.0	4	80.0			
指標名2		心身障害者扶養共済制度掛金助成1件当り助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	25000	29000	116.0	24500	84.5	28667	117.0	
	実績	21727	19518	89.8	12406	63.6			

【効率性】

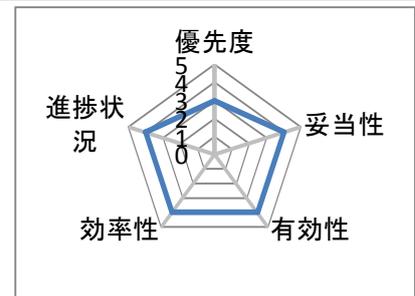
指標名1		心身障害者扶養共済制度掛金助成に係る1件当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／年間助成件数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/件	目標	115020	107196	93.2	121202	113.1	154758	127.7	
	実績	92283	94214	102.1	128373	136.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	掛金の助成により、共済制度加入者の経済的負担の軽減が図られた。	
効率性	負担割合の適正化	世帯の所得階層に応じた助成を行うことで、障害者(児)の保護者の負担に対して適正な助成を行った。	4
	手段の最適性	適正な執行体制により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	定期的な事務であり計画通りに執行できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	事業の目的及び内容について引続き見直しに向けた検討を行う。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	更なる制度の周知及び効果的な執行体制の検証が必要である。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031200		事業の種類	5	
年度	26	事務事業名	心身障害者(児)歯科診療事業		予算事業名	心身障害児(者)歯科診療事業	
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	横家 秀樹	
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市各種補助金等交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)					
	誰(何)を対象として	社団法人相生・赤穂市郡歯科医師会附属歯科診療所					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害者(児)が、その心身の障害にかかわらず、適切な歯科治療を受けることができ、安心して健康的な日常生活を送ることができるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		心身の障害のため、一般の歯科医院で治療を受けることが困難な障害者(児)を対象に、歯科治療及び予防的な処置を行う歯科診療所に対し、相生市、赤穂市、上郡町が共同で運営に要する費用の一部を助成する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画	
	受診延人数	人	48	55	81	60	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.016	133	0.016	100	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	399,624	409,574	102	482,501	118	433,242	90	
	事業費	2,886,000	2,857,000	99	2,837,000	99	2,855,000	101	
	合計	3,285,624	3,266,574	99	3,319,501	102	3,288,242	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,285,624	3,266,574	99	3,319,501	102	3,288,242	99	
合計	3,285,624	3,266,574	99	3,319,501	102	3,288,242	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		歯科診療所受診者数							
指標説明(式)		年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	60	120.0	
	実績	48	55	114.6	81	147.3			
指標名2		歯科診療所受診者1人当り助成額							
指標説明(式)		年間助成額/年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	57720	57140	99.0	56740	99.3	47583	83.9	
	実績	60125	51945	86.4	35024	67.4			

【効率性】

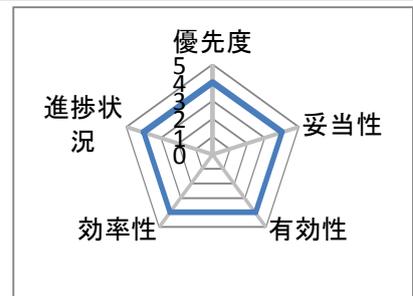
指標名1		歯科診療所受診者に係る1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間歯科診療所受診者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人	目標	8655	7308	84.4	9650	132.0	7220	74.8	
	実績	8325	7447	89.5	5957	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ほぼ達成できた。	4
	市民サービス	障害者(児)に適正な歯科診療を提供することができた。	
効率性	負担割合の適正化	赤穂市と上郡町で合同で運営し、人口及び利用実績に応じ負担をしているが、その割合について協議が必要である。	4
	手段の最適性	障害者(児)のニーズに対応するための、適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新規受診者の手続き及び補助金交付事務は計画的に処理できている	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	2市1町の負担割合について、他の制度を参考に見直しの協議が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	新規利用者増のため、歯科診療所の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031500	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	福祉タクシー助成事業	予算事業名	在宅重度心身障害者(児)等福祉事業
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典	担当者名	鶴尾 あい子
取組み事項	障害者福祉サービスを充実する	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規	相生市重度心身障害者(児)等社会参加促進交通費助成要綱				
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児			
	誰(何)を対象として	重度の障害による外出や移動の困難さ、またそのために発生する経済的負担。			
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害による外出や移動の困難さ、それに伴う経済的負担を軽減し、障害者の自立及び社会参加の促進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要	事業を利用しようとする者からの申請に基づき利用の可否を決定し、決定を受けた申請者に対し1月当たり3枚を限度として福祉タクシー利用券を交付する。助成対象は、利用者が控除を受ける利用券1枚につきタクシーの基本料金の9割相当額とし、当該控除額を利用したタクシー事					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	事業利用者	人	99	105	106	115

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.036	129	0.028	78
	臨時職員	0.000		-	0.040	-	0.040	100
支出内訳	人件費	523,208	532,566	102	734,661	138	630,938	86
	事業費	983,500	972,160	99	1,015,640	104	1,142,000	112
	合計	1,506,708	1,504,726	100	1,750,301	116	1,772,938	101
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-
	市債	0	0	-	0	-	0	-
	その他	0	0	-	0	-	0	-
	一般財源	1,506,708	1,504,726	100	1,750,301	116	1,772,938	101
	合計	1,506,708	1,504,726	100	1,750,301	116	1,772,938	101

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	事業利用者数								
指標説明(式)	年間事業利用者数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	123	107	87.0	115	107.5	115	100.0	
	実績	99	105	106.1	106	101.0			
指標名2	発行タクシー券の利用率								
指標説明(式)	利用枚数/発行枚数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
%	目標	60	60	100.0	60	100.0	60	100.0	
	実績	58.4	55.6	95.2	53.3	95.9			

【効率性】

指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費／年間事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	4,626	4,599	99.4	5,653	122.9	5,486	97.0	
	実績	5,284	5,072	96.0	6,931	136.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者に対し、適正に実施することができた。	4
	市民サービス	障害者の移動支援、病院への通院、社会参加などを促進することができた。	
効率性	コストの節減	申請者、利用枚数はほぼ横ばいで推移している。	4
	手段の最適性	適切な手段により実施されている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	申請・交付事務及び支払い事務は毎月計画的に執行できている。	4

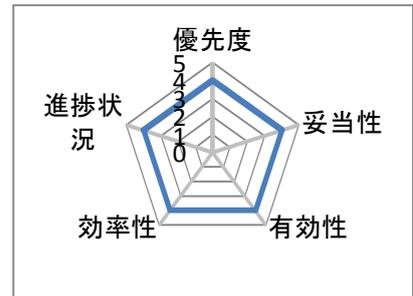
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	現在は一人あたり年間36枚(10日で1枚の換算)の支給となっている。コストの増大にはなるが、今の枚数が適正であるか検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	他市町の情報も入手しながら、適正な事務の執行が求められる。



配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401031700		事業の種類		1	
年度	26	事務事業名	障害児通所給付支給事業	予算事業名	障害児通所給付支給事業	優先度	5
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名 健康福祉部社会福祉課			
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	利根 克典	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		児童福祉法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害児					
	誰(何)を対象として	障害児やその家族の日常生活上の暮らしにくさ、自立の困難さ					
	意図(どのような状態にしたいのか)	障害児やその家族に対して支援を行うことにより、日常生活の基本的動作の訓練や、自立に必要な知識技能の習得を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		障害児の保護者等の申請に基づき、障害児通所支援の支給決定を行う。この決定に基づき障害児通所支援を利用した障害児の保護者等に対し、その費用の全部又は一部を障害児通所給付費として支給する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	障害児通所支援利用者数	人	245	365	459	576

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員	0.212	0.212	100	0.184	87	0.160	87	
	臨時職員	0.000		-		-		-	
支出内訳	人件費	1,944,424	1,946,974	100	1,784,165	92	1,550,394	87	
	事業費	6,958,453	11,948,580	172	14,422,183	121	17,554,000	122	
	合計	8,902,877	13,895,554	156	16,206,348	117	19,104,394	118	
財源内訳	国庫支出金	3,277,988	6,518,421	199		0		-	
	県支出金	1,638,993	3,259,210	199		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,985,896	4,117,923	103	16,206,348	394	19,104,394	118	
	合計	8,902,877	13,895,554	156	16,206,348	117	19,104,394	118	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		障害児通所支援事業利用者数							
指標説明(式)		年間障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	258	-	417	161.6	576	138.1	
	実績	245	365	149.0	459	125.8			
指標名2		障害児通所支援事業利用者1人当り事業費							
指標説明(式)		年間事業費/年間障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	34,511	-	37,107	107.5	30475	82.1	
	実績	28,401	32,735	115.3	31420	96.0			

【効率性】

指標名1		障害児通所支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費／障害児通所支援事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	7,555	-	4,321	57.2	2692	62.3	
	実績	7,936	5,334	67.2	3887	72.9			

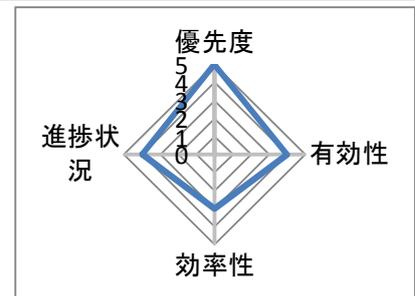
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	障害児通所支援利用希望者が適正なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	コストの節減	障害児支援の利用者が増えたため、コストが増加した。	3
	執行体制の効率性	利用者増に伴い事務量が増加している。システムを活用し、さらなる事務の効率化を図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。利用者のニーズが高まり、利用者は増加している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事務内容の複雑化、利用者増に伴う事務量の増加の対応するため、効率的な事務の執行が必要。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業の適正な実施のため、国、県からの情報に注視しながら、システム等を活用し効率的な事務の執行を図る。

配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020401031800		事業の種類		4	
年度	26	事務事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業	予算事業名	在宅重症心身障害児(者)訪問看護支援事業	優先度	4
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名		健康福祉部社会福祉課	
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長		利根 克典	
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載		無	
実施計画事業名				担当者名		山本 由香里	
実施計画事業名				主要事業の指定		無	
根拠法規及び関連法規		相生市在宅重症心身障害児(者)訪問看護利用支援事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者のうち、身体障害者福祉法施行規則別表第5条の肢体不自由1級に該当し、かつ、判定機関において知的障害の程度が重度と判定され					
	誰(何)を対象として	医療保険各法の規定による訪問看護療養費の利用料の一部。					
	意図(どのような状態にしたいのか)	居宅において継続して療養を受ける必要がある者に訪問看護療養費の一部を助成することにより、重度障害者の福祉の増進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内に住所を有する身体障害者福祉法第15条に規定する肢体不自由1級に該当し、かつ、知的障害の程度が重度と判定された者又はその家族に対し、訪問看護療養費の100分の10に相当する額を一部負担金として控除した額を助成する。				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	重症心身障害児(者)訪問看護療養費利用料助成費	人数		0	0	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.026	-	0.027	104	0.026	96	
	参事以下職員		0.020	-	0.002	10	0.004	200	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		471,070	-	374,029	79	340,146	91	
	事業費		0	-	0	-	256,000	-	
	合計		471,070	-	374,029	79	596,146	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		471,070	-	374,029	79	596,146	159	
合計		471,070	-	374,029	79	596,146	159		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		訪問看護療養費助成利用人数							
指標説明(式)		年間助成人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標		1	-	1	100.0	1	100.0	
	実績		0	-	0	-			
指標名2		訪問看護療養費一人当たり助成額							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標		256000	-	256000	100.0	256000	100.0	
	実績		0	-	0	-			

【効率性】

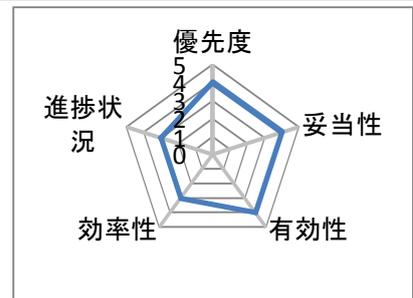
指標名1		訪問看護療養費助成1人当りコスト							
指標説明(式)		年間事業費/年間助成人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標		256000	-	256000	100.0	256000	100.0	
	実績		0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象となる障害児の保護者から問合せがあったが申請には至らなかった。	4
	市民サービス	助成金の支給により、障害児(者)の経済的負担を軽減できる。	
効率性	手段の最適性	対象となる障害児(者)へ「障害者福祉制度のてびき」で助成制度について周知した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象となる障害児の保護者から問合せがあったが申請には至らなかった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者と保護者の経済的負担の軽減



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	「障害者福祉制度のてびき」で制度について利用できるよう周知を図る

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	020401031900	事業の種類	4
年度	26	事務事業名	軽・中度難聴児補聴器購入費助成事業	予算事業名	優先度
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部社会福祉課
施策名(中)		障害者の社会参加と自立した生活を支援する		担当課長	担当者名
取組み事項		障害者福祉サービスを充実する		実施計画への記載	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生市軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業実施要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児			
	誰(何)を対象として	身体障害者手帳の交付対象とならない者であって、両耳とも聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満であるもの又は片耳の聴力レベルが70デシベル以上で、他方の耳の聴力レベル			
	意図(どのような状態にしたいのか)	身体障害者手帳の交付対象とならない軽・中度の難聴児の補聴器購入費用等の一部を助成することにより、言語の習得、教育等における健全な発達を支援し、もって福祉の増進を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		保護者が市内に住所を有する18歳までの児童であって、身体障害者手帳の交付対象とならない聴力(両耳とも聴力レベルが30dB以上70dB未満であるもの又は片耳の聴力レベルが70dB未満のもの)であり、補聴器の装用により言語の習得等に効果が期待できる児童の保護				
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業	人数	-	0	1	1

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.027	-	0.026	96	
	参事以下職員			-	0.020	-	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	513,493	-	464,274	90	
	事業費			-		-		-	
	合計			-	513,493	-	464,274	90	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	513,493	-	464,274	90	
	合計			-	513,493	-	464,274	90	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		軽・中度難聴児補聴器購入費等助成利用人数							
指標説明(式)		年間助成人数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-	1	-	1	100.0	
	実績			-	1	-			
指標名2		事業対象者1人当たり助成額							
指標説明(式)		年間助成額/年間事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円/人数	目標			-	100000	-	100000	100.0	
	実績			-	80000	-			

【効率性】

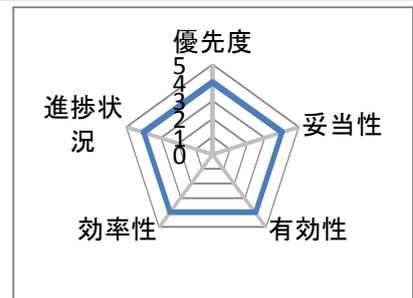
指標名1		1件当たりのコスト							
指標説明(式)		人件費/年間事業利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	513493	-	464274	90.4	
	実績			-	513493	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校等の関係機関からの問い合わせと保護者からの申請により支給。	4
	市民サービス	助成金の支給により、障害者福祉サービスの対象とならない聴覚障害児の保護者への経済的負担を軽減できる。	
効率性	手段の最適性	広報掲載により制度について周知を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	障害者福祉サービスの対象とならない聴覚障害児の保護者への経済的負担を軽減できる。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	制度についての周知方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	020401040100	事業の種類	1
年度	26	事務事業名	障害者地域生活支援事業
予算事業名	障害者地域生活支援事業	優先度	5
まちづくり目標	みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		
担当部局名	健康福祉部社会福祉課		
施策名(中)	障害者の社会参加と自立した生活を支援する	担当課長	利根 克典
担当者名	横家 秀樹		
取組み事項	障害者の社会参加と交流を促進する	実施計画への記載	無
主要事業の指定	無		
実施計画事業名	地域活動支援センター運営事業補助金		
根拠法規及び関連法規	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、地域生活支援事業実施要綱		
事業の目的	誰のために(具体的に)	身体・知的・精神障害者、障害児	
	誰(何)を対象として	障害者や家族の日常生活上の不安や暮らしにくさ、介護の負担、社会参加・自立の困難さ	
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の特性や利用者の状況に応じた事業を効率的・効果的に実施し、障害者等がその有する能力及び適性に応じ、安心して自立した日常生活又は社会生活を営むことができる社会の実	

2 事業の概要 Do

実施の概要	国の地域生活支援事業実施要綱に規定する市町村地域生活支援事業として、必須事業(相談支援事業、コミュニケーション支援事業、日常生活用具給付等事業、移動支援事業、地域活動支援センター事業)及びその他の事業を実施する。					
活動実績	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度計画
	相談支援事業	人	183	246	211	235
	日常生活用具給付等事業	人	58	56	59	60
	移動支援事業	人	31	28	32	30
	その他事業	人	2,738	3,844	4,385	4,500

3 投入資源

会計区分	一般会計		事業費単位:円					
インプット指標	24年度決算	25年度決算	前年比	26年度決算	前年比	27年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.026	108	0.027	104	0.026	96
	参事以下職員	1.356	2.108	155	1.344	64	1.412	105
	臨時職員	0.000	-	-	0.640	-	-	0
支出内訳	人件費	10,780,680	16,521,526	153	12,327,045	75	11,263,410	91
	事業費	35,721,487	34,885,225	98	40,355,556	116	48,965,000	121
	合計	46,502,167	51,406,751	111	52,682,601	102	60,228,410	114
財源内訳	国庫支出金	16,247,000	14,311,000	88	-	0	-	-
	県支出金	9,628,000	6,905,000	72	-	0	-	-
	市債	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
	一般財源	20,627,167	30,190,751	146	52,682,601	174	60,228,410	114
	合計	46,502,167	51,406,751	111	52,682,601	102	60,228,410	114

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	地域生活支援事業利用者数								
指標説明(式)	年間利用者数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2,800	3,323	118.7	4,234	127.4	4825	114.0	
	実績	3,010	4,174	138.7	4687	112.3			
指標名2	地域生活支援事業利用者1人当り事業費								
指標説明(式)	年間事業費/年間利用者数								
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,568	12,133	83.3	9,955	82.0	10148	101.9	
	実績	11,867	8,357	70.4	8610	103.0			

【効率性】

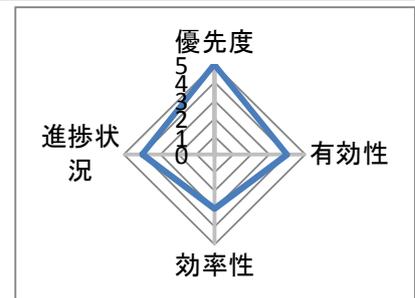
指標名1		地域生活支援事業利用者1人当りコスト							
指標説明(式)		年間人件費/年間利用者数							
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2,977	6,067	203.8	2,656	43.8	2334	87.9	
	実績	3,581	3,958	110.5	2630	66.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	24年度	25年度	前年比	26年度	前年比	27年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(26年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	事業利用希望者が適切なサービスを受けるための支援を行うことができた。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	関係法令に基づき、事務を適正に実施することができた。	
効率性	負担割合の適正化	対象となる事業が多く、全体のコストから見て、市の負担割合が多くを占めている。	3
	手段の最適性	それぞれの事業について、実施時期や開催場所、開催回数など、概ね適正に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	市の負担が大きく、国に対して補助金の適正な配分を求める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた27年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	事業内容、事業効果を検証し、事業の整理を図る。

配点	25
総合評価	21